



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号

玉名-男8

年月日 2019年8月4日(日)
 大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A		徳島市立高等学校						興南高等学校						B	
熊本市		玉名市				玉名市総合体育館						1回戦			
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シフト	A	B	
	13	22		26	44										
7m得点/総数		A			チームタイムアウト			B			7m得点/総数				
2/2		1	2 後半	3	1	2	3	2/2							
		1140	0553	2207											

No.	徳島市立高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	興南高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	濱田 空良							1	西原 雄聖						
2 C	四十宮 幹太	10						2	大城 佑吏	3					
3	浅石 高志	4						3	田仲 康太郎	1					
4	沼田 征也	2						4	楚南 和輝	1					
5	松村 明門	1						5	親泊 寛幹	6		1			
6	和田 大輝							6	池間 飛勇	8					
7	西岡 龍二	6						7 C	伊禮 雅太	7					
8	宮嶋 蒼汰	2						8	平田 玲	2					
9	永正 太郎	1	1					9	前里 蓮允	2					
10	井原 大耀							10	新垣 宏太	2					
11	中内 力哉							11	新里 正逐	2					
12	大杉 真央							12	東江 大洋						
13	後藤 昂介							13	瑞慶山 充貴	3					
14	工藤 景磨							14	伊禮 颯雅	7					
役員A	岩本 靖史							役員A	黒島 宣昭						
役員B	福山 温子							役員B	照屋 喜隆						
役員C	古川 凌雅							役員C	金城 晴弥						
役員D								役員D							

A	岩本 靖史	チーム役員A署名	黒島 宣昭	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	鶴野 裕基	高橋 知混	鶴野 裕基 高橋 知混
TD	今泉 暢禎	加藤 俊宏	今泉 暢禎 加藤 俊宏
MO			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 4日 日曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	1回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	後半	総得点	チーム名
26	徳島市立	26	13-22	13-22	44	興南
			後半			
第1延長			第2延長			7MC
—			—			—
—			—			—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	この試合を制し、良い感触を持って優勝候補の一角、北陸と当たるために負けられない一戦。気合十分で試合が開始された。先制したのは徳島。沼田のポストシュートがゴールに突き刺さる。続いてキャプテン四十宮のミドルシュートが決まる。負けじと興南も3連続得点で逆転。9分過ぎまでは4-4の拮抗した試合だったが、試合が動いたのは10分。興南が3連続得点し、徳島はたまたまTO。しかしその後も興南は攻撃の手を緩めることなく、池間の速攻を中心に6連続得点し14-4とセーフティリードを奪った。徳島市立も四十宮を中心に点差を詰めようとするも、興南は攻撃の手を緩めず、前半を、22-13、興南9点リードで終了。
	後半	追いつきたい徳島、更に突き放したい興南、先に得点したのは興南。9分過ぎまでに6連続得点し、勝敗の行方をほぼ決定付けた。徳島も22分のTO後、4連続得点し一矢を報いたが、反撃もそこまで。興南が伊禮雅、伊禮颯、池間の活躍で快勝した。徳島はキャプテン四十宮を中心何とか食い下がったが、細かいパスミスでチャンスをつぶしたのが最後まで響き、5年ぶりの勝利には届かなかった。平成15年の初優勝以来、6度の優勝を勝ち取った興南。しかしここ4年はベスト8なし、今春の選抜も3回戦で敗退しており、この大会は期するものがありそう。九州チャンピオンとして、次戦、北陸との好試合を期待したい。

記入者 岩崎 和彦